

# 東大和三中だより

～ 自らを律し、共に学び合う生徒の育成 生きる力を育む ～

令和6年9月6日

9月号 (No. 5)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原 2-7

TEL 042-564-5411

## 『体験活動から学ぶ大切さ』

校長 中屋 珠美

始業式では夏休みを通してまたひとまわり成長した元気な生徒たちに会うことができ、とてもうれしく思いました。

2 学期は CS 主催の防災訓練、合唱祭、1 学年は校外学習、2 年生はコロナ緊急事態宣言以降初めてとなる職業体験、3 年生は修学旅行という大きな体験学習があります。これからの世の中で必要とされる力は、**学校で学んだ知識を実社会で使いこなす力**です。体験を通じて感覚的に捉え、「なんでだろう?」と自分なりに考えて答えを生み出したり、実際に体験するからこそ、自分の「好き」「嫌い」や「やりたいこと」「苦手なこと」がわかるものです。同時に多くの人と関わりながら体験を積み重ねることにより、「社会を生き抜く力」として必要となる基礎的な能力～社会で求められる仲間とのコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、異なる他者と協働する能力等～を育むことができます。



行事のめあてはありますが、一人一人の状況によって目標は異なることでしょう。学校のめあての上に行く目標を立てる生徒もいれば、参加し班の仲間と行動することが目的の生徒もいるかもしれません。初めての経験で不安もあるかもしれませんが、どうせやるなら前向きに楽しく取り組み、仲間と体験や感動を共有できれば最高だと思います。人と比べて『できている』『できていない』などと考えるのではなく、昨日までの自分と比べて『できた』ことを見つけながら、自信を積み重ねていってほしいです。



ところで、今年度は能登半島地震で始まり、大きな地震や台風などの災害も多く、今まで以上に災害に対する意識が高まっています。各ご家庭においても対策を立てられていることでしょう。今年度も10月5日(土)、本校にてCS主催の防災訓練を行います。いざ避難!という時、三中は避難所となります。生徒と一緒に初期対応や応急手当、防災倉庫の中の防災グッズ確認や校庭の簡易トイレの場所等をぜひ保護者の皆様も知ってほしいと思います。今年度は地域や保護者の皆様にご協力をいただき、炊き出しを考えています。詳細についてはまた後日 CS (コミュニティースクール) けやき通りからお知らせいたします。ご協力とご参加をお願い致します。



最後に、夏休みには5地区青少対主催の防災訓練に本校生徒がボランティアとして参加しました。

『5 小恐怖の館』(おばけ)屋敷を中心に運営のお手伝いを行いました。また3地区青少対主催のパトロールにも参加しました。2 学期もボランティア活動を通して、生徒に郷土愛や自己有用感を育むとともに、地域の方にも三中生を知っていただきたいと思っています。

2 学期も三中では生徒を主語に考え、地域に開かれた学校として教育活動を進めていきます。どうぞよろしくお願い致します。

## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果より

1学期に、3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。生徒は個票を活用して自身の学びを振り返り、2学期以降の学びにつなげていってほしいと思います。ここでは、結果の一部について、ご紹介します。今後の学習の参考にしていただければと思います。

### ■ 令和6年度全国学力・学習状況調査 国語 問題番号11-1について

#### 【出題の趣旨】

必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

	【正答率】	【無解答率】
本校	62.1%	0%
東京都	66.3%	0.4%
全国	63.2%	0.4%

#### ポイント

話し合いをする場面では、次の4つのことが大切です。

- ①必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること
- ②資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すこと
- ③意見と根拠など情報と情報の関係について理解すること
- ④話し合いや話題の展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること

「話し合いの一端」の「線部①」でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか」という発言について説明したものと、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。  
 1 藤田さんの経験が、「フィルターバブル現象の資料」の内容に当てはまるのかどうかを確かしようとしている。  
 2 藤田さんの経験が、「フィルターバブル現象の資料」の内容とは関係していないことを明らかにしようとしている。  
 3 藤田さんの経験をもとに、「フィルターバブル現象の資料」の内容に反対する意見を述べようとしている。  
 4 藤田さんの経験をもとに、「フィルターバブル現象の資料」の内容に誤りがあることを指摘しようとしている。

### ■ 生徒質問紙調査について

国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか。

- 1 当てはまる    2 どちらかといえば、当てはまる    3 どちらかといえば、当てはまらない  
 4 当てはまらない

選択肢	1	2	3	4
本校	27.3	52.4	13.3	5.6
東京都	30.0	50.7	14.8	3.3
全国	28.8	51.7	15.3	3.1

本校の肯定的回答は79.7%であり、東京都の肯定的回答(80.7%)より1.0ポイント低く、全国の肯定的回答(80.5%)より0.8ポイント低くなっている。

■ 令和6年度全国学力・学習状況調査 国語 問題番号1—1について

**藤田さん** 私は、この前、インターネットで和菓子作りの本を探して購入しました。そのあと、インターネットを利用するたびに、和菓子作りに関する本が表示されるようになって、次に読みたい本もすぐに見付かりました。

**今井さん** たくさんの本がある中で、自分の好みに合った本を選んで示してくれるのは、便利ですね。でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか。

**藤田さん** そうですね。言われてみれば、和菓子作りに関する本がたくさん表示されていたので、最近、それ以外の本の情報にあまり触れていなかった気がします。(図)のこのあたりにいるような感覚ですね。今井さんは、ふだんどうやって本を選んでいるのですか。

**今井さん** 私は、図書館や書店で本を選んでみます。読みたい本を見付けるのには時間がかかりますが、本棚を眺めていると、思いがけない本との出会いがあって興味が広がると感じています。

**藤田さん** 図書館や書店でいろいろ本棚を眺めながら本を選ぶと、時間はかかっても、情報が偏るような状態にはならないでしょうね。

**山岡さん** そういえば、インターネットでも様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページがありますよ。そこで紹介されている本は、本を探している人の好みによって選ばれているわけではないので、フィルターバブル現象の影響は受けにくいのではないのでしょうか。

**今井さん** そのような本の選び方は、学校図書館で、おすすめの本のコーナーから本を選ぶことと似ていますね。おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。

**山岡さん** フィルターバブル現象のことを意識すると、本の選び方についても改めて考えてみる必要があると感じました。皆さんは、これからどのように本を選ぶと思いますか。

**(図) フィルターバブル現象**  
自分の好み情報「だけ」に囲まれ、多様な意見から隔離されやすくなる現象。

**(解説)**  
インターネットで検索したり閲覧したりした履歴が、使用した通信機器などに記憶され、解析されることで、その利用者の好み情報が優先的に表示されるようになる。一方で、好まないと判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなったりする状態のことを「フィルターバブル現象」という。  
例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。

**山岡さん** 皆さんは、【フィルターバブル現象の資料】にあるような経験がありますか。

**今井さん** 私の兄は、時々、インターネットで検索して本を買っているのですが、興味している著書に関する本の表示が多くなったと言っていました。これは、フィルターバブル現象が起きているということでしょうか。

**山岡さん** (解説)の例と同じような状態ですね。インターネットを利用して本を選ぶと、フィルターバブル現象の影響を受ける可能性があります。では、読書を「フィルターバブル現象と本の選び方」にして話し合ってみませんか。

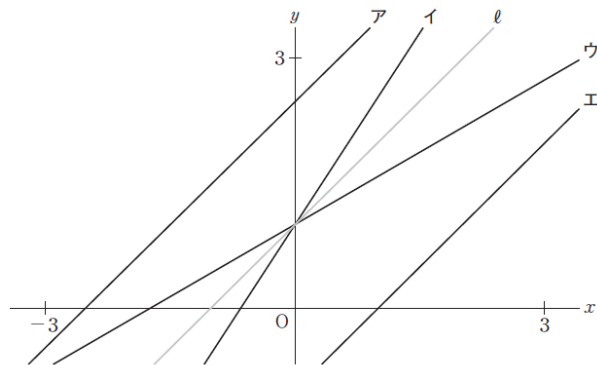
**今井さん** 身近なテーマでよいと思います。私は、兄のようにインターネットで本を買うことはないのですが、皆さんはどうですか。

1 山岡さんたちは、国語の時間に、「フィルターバブル現象の資料」をもとに、グループで読書を決めて話し合っています。次の「フィルターバブル現象の資料」と「話し合いの一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

■ 令和6年度全国学力・学習状況調査 数学 問題番号4 について

4 一次関数  $y = ax + b$  のグラフについて考えます。下の図の直線  $\ell$  は  $a = 1$ 、 $b = 1$  のときのグラフです。直線  $\ell$  に対して、 $b = 1$  を変えずに  $a$  の値を1より大きくしたときのグラフが、直線アからエまでの中にあります。それを1つ選びなさい。



ポイント

関数を用いて事象を捉え考察する場面では、次の2つのことが大切です。

- ① 伴って変わる2つの数量の変化や対応の様子に着目して、関数関係を見いだす。
- ② その関数の特徴を調べるために、式とグラフの特徴を関連付けて理解する。

【出題の趣旨】

関数を用いて事象を捉え考察する場面において必要となる、次のことができるかどうかをみる。

- ・数学的に表現したことを事象に即して解釈すること
- ・一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解していること

	【正答率】	【無解答率】
本校	52.9%	1.4%
東京都	68.3%	0.8%
全国	65.3%	0.7%

令和6年度

## 9月 行事予定表

日	曜	学校行事	朝 学 習	第1学年						第2学年						第3学年						給食		
				1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6			
1	日																							
2	月	始業式 安全指導⑤ 職員連絡会⑥	×	◎	学	○	×	×	×	◎	学	○	×	×	×	◎	学	○	×	×	×	×		
3	火		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	○	○	☆	○	
4	水	学年会	○	道	○	○	○	○		道	○	○	○	○		道	○	○	○	○			○	
5	木		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	金		○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	☆	☆	○	○	○	○	○	○	☆	○	
7	土																							
8	日																							
9	月		○	学	○	○	○	○	○	学	○	○	○	○	○	学	○	○	○	○	○	○	○	
10	火	修学旅行(3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	△	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	1・2
11	水	修学旅行(3)	○	道	○	○	○	○		道	○	○	○	○		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	1・2
12	木	修学旅行(3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	△	1・2	
13	金	校外学習(1)	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	○	○	☆	2・3	
14	土																							
15	日																							
16	月	敬老の日																						
17	火	全校朝礼	朝 礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	○	○	○	☆	○
18	水		○	道	○	○	○	○		道	○	○	○	○		道	○	○	○	○			○	
19	木	避難訓練⑤	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	金	生徒会役員選挙	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	
21	土																							
22	日	秋分の日																						
23	月	振替休日																						
24	火		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	○	○	☆	○	
25	水		○	道	○	○	○	○		道	○	○	○	○		道	○	○	○	○			○	
26	木	中間考査第1日	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	
27	金	中間考査第2日 専門中央委員会⑤	×	○	○	○	○	☆	□	○	○	○	○	☆	□	○	○	○	○	○	☆	□	○	
28	土																							
29	日																							
30	月	生徒会朝礼 復習確認テスト(3)	朝 礼	学	○	○	○	○	○	学	○	○	○	○	○	学	○	○	○	○	○	○	○	

※ 予定は変更になることがあります。その際は各学年便りなどにてご連絡いたします。